

「みんなだいすき お手伝い大作戦」

—生活科の活動を通して、勤労の価値と意義を学ぶ—

山梨県山梨市立後屋敷小学校教諭 樋口明美・小澤恵美・奥山千代

事例の 位置付け	実施学年	第1学年
	教科等	生活科
	単元名	みんな だいすき

ガイドブックの利用にあたって

ガイドブックの利用にあたって

生活設計・家計管理

生活設計・家計管理

金融や経済のしくみ

金融や経済のしくみ

消費者保護・トラブル未然防止

消費者保護・トラブル未然防止

キャリア教育

キャリア教育

ねらい

- 1 家族や家庭での生活に関心をもち、自分の生活を振り返らせたり、家族との関わりについて考えさせたりする。 【生活への関心・意欲・態度】
 - 2 家族の仕事に関心をもち、自分ができるところを進んだり、新しい仕事にチャレンジしたりして、家族の一員としての役割を果たす態度を養う。 【活動や体験についての思考・表現】
 - 3 家族に対する思いや願いを自分なりに工夫して表現するとともに、互いに支え合って生活している家族の良さに気づかせる。 【身近な環境や自分についての気づき】
- 金銭教育に関わる目標
- 1 自分を支える家族に感謝の気持ちをもつとともに、家族の一員として仕事を分担し、責任をもってそれを果たしていく態度を養う。

展開の特色

家庭は子どもにとって生活の場であり、自分の生活を支えてくれるところである。しかし、1年生の子どもにとって家庭はあまりにも身近な存在であるために、「一緒にいて当たり前、何かをしてもらって当たり前」という感覚が強く、家族の大切さ、家族の自分に対する思いや、家族のなかでの自分の役割に気づかないことが多い。一方、社会の価値観が多様化するなかで、子ども達を取り巻く家族の様相も多様化している。温かい触れ合いに満ちた家庭、触れ合いの時間がなかなかもちにくい家庭等、さまざまな家族のもとで子ども達は生活している。家族の構成や暮らし方はそれぞれ異なっているが、どの家庭にも心のつながりがあり、互いに支え合っている良さがある。本単元では、子ども達がこのことに気づき、さらに家族の在り方について見つめ直すきっかけとなることを意図している。

単元の進め方については、まず自分の家族について調べ、まとめたり発表したりする活動を通して、これまで意識していなかった家族と自分との関わり気づかせたい。そして、子ども一人一人の家族に対する思いや気づきを、自分なりの方法で発表させることで、思考力や表現力を育てたい。さらに家族の仕事を調べたり、また、自分でできる仕事を家庭に帰って実践しそれを発表したりするなかで、自分の生活について考えさせ、家族の一員としてできることは進んでやろうとする態度を育てていきたい。

自分にできることを増やしていきながら、自分自身を、そして家族を見つめ直すこのような活動は、自分への自信を深め、より良い生活を創りだしていこうとする子どもを育てるきっかけとなると思われる。本単元の学習を終えたとき、家族はもちろん、身の回りの人まで「みんなだいすき」と思えるような子どもにしていきたい。

また、本単元は、家庭生活のなかに主な活動場面が設定されているという特徴のある単元である。そのため、家庭にまで継続されるような意欲づけや興味づけが、特に必要となってくる。家庭での取り組み方が、子どもの意欲の違いとなって表れてくることも予想されるので、学習の趣旨については、文書を配布したり、懇談会で説明したりして保護者の理解を得られるように努めたり、アンケートにより保護者の活動に対する考え方も受けとめたりしたい。

また、子ども一人一人の家族構成や、家庭生活の様子が異なるので、学習を進めていくなかで自分と友だちの家庭を比べて、羨むような気持ちを抱かせないよう配慮したい。

本単元は、『学校教育における金銭教育の進め方』（貯蓄広報中央委員会〈現 金融広報中央委員会〉、平成12年7月）の中の「3、金銭と社会の関わりに関して（2）健全な勤労観と感謝の気持ちの育成」に関わりをもつと考えられる。保護者の勤労によって自分の生活が支えられていることに気づき、してもらっているさま

ざまなことに感謝の心をもつようになることは、大切なことである。

また、健全な勤労観を育てるためには、家の仕事を分担することも大切である。勤労には苦しさもともなう一方、やり遂げた時の喜びも大きいことを実感することで、家族との一体感を深め、保護者に対する親愛の情も深まると考える。本単元を学習することで、子ども達に家族への感謝の心や、勤労意欲が芽生えるきっかけとなってくれることを期待している。そして、金銭教育の目指す子ども像である、「働く人に感謝し、自ら働こうとする子ども」を育てていきたい。

構成

単元名 「みんな だいすき」(全 12時間)						
過程	時間	学習内容	教師の支援	【観点別評価規準】〈評価方法〉		
				生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
つかもつ	1	①自分の家族について話し合う。	・楽しかった思い出や、日常のエピソード等を引き出す。	・家族との思い出やエピソードについて、思い出そうとしている。〈行動観察〉	・自分の家族のことについて、発表することができる。〈発言分析〉	・家族について意識し、家族の良さに気づいている。〈発言分析〉
	1	②自分の1日を振り返ってみる。	・カード等を用意し、1日の様子が思い起こせるよう援助する。	・一日の生活の様子を振り返り、自分の生活について考えようとしている。〈行動観察〉	・自分の一日の生活について、友だちに知らせることができる。〈発言分析〉	・自分や友だちがどのように生活しているかが分かり、規則正しい生活の大切さが分かっている。〈カード〉
やってみよう	2	③みんなに紹介したい人を決め、紹介のための準備をする。	・家庭での取材活動があるので、趣旨が家庭に伝わるよう文書等で知らせる。	・自分の家族に目を向け、話を聞いたりして調べようとしている。〈プリント①〉	・自分の家族のことを、わかりやすく伝えられるよう発表の準備ができる。〈行動観察〉	・準備を通して、家族の良さや、家庭を支えている家族の役割に気づいている。〈行動観察〉
	1	④大好きな家の人のことを、自分なりのやり方で紹介する。	・自分の大好きな人と、自分との関わりが紹介できるよう助言する。	・自分の家族について友だちに伝えようと思っても発表したり、友だちの家族についても関心をもって聞くようとしている。	・準備したものを、上手に使うことができる。〈発表分析〉	・自分や友だちの家族には、それぞれの良さがあり、温かい触れ合いがあることに気づいている。〈発言分析・プリント①〉

過程	時間	学習内容	教師の支援	【観点別評価規準】〈評価方法〉		
				生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気づき
やってみよう	1	⑤家族の家庭での仕事を調べ、紹介する。	・家族と過ごせる週末の課題として調べさせる。プリント等を用意し記入しやすくする。	・家では誰がどんな仕事をしているか考えようとする。 〈プリント②〉	・家庭での家族の仕事をよく観察し、調べてプリントにまとめることができる。 〈プリント②〉	・家庭にはさまざまな仕事があり、家族が協力し合って仕事をし生活していることに気づいている。 〈発言分析〉
	1	⑥家族のためにやりたいことを考え、どのように実践していくか計画を立て、家庭で実践する。	・継続できるような家庭の協力を得る。	・自分にできそうな仕事や、やってみようとする仕事を見つけ、進んで取り組もうとしている。 〈プリント③④〉	・自分にできそうな仕事や、やってみようとする仕事はあるか考え、工夫して取り組むことができる。 〈プリント③④〉	・家の仕事に取り組むなかで、自分にできる仕事がたくさんあることに気づき、家庭における自分の役割について考えている。 〈発言分析〉
まとめよう	2	⑦家庭で実践してきた仕事について発表する準備をする。	・自分がやった仕事の内容が具体的に伝わるような発表の仕方を工夫させる。	・自分の仕事に自信をもって発表の準備をしようとしている。 〈行動観察〉	・友だちと協力して発表の準備をすることができる。 〈行動観察・カード〉	
	2	⑧自分の仕事の発表会を行う。 【前半の1時間が本時】	・発表の手順等をしっかり確認させスムーズに行進できるようにさせる。 ・プリントを記入させることで、お手伝い大作戦のまとめをし、これからの自分の仕事への意欲をもたせる。	・自分のしてきた仕事を友だちに伝えようとしている。 〈発表分析〉	・準備したものを使って、わかりやすく発表できる。 〈発表分析〉	・友だちの発表を聞き、家の仕事にはいろいろあることに気づいている。 〈発言分析〉
	1	⑨家の人に感謝の手紙を書く。	・今まで実践してきた活動や学習した事柄を思い出させ、それをふまえて手紙が書けるように助言する。	・友だちのしてきた仕事に関心をもって聞こうとしている。 〈行動観察・表情〉	・友だちの発表をしっかりと聞き、質問したり感想を言ったりできる。 〈発言分析〉	・友だちの作文や自分の実践を通して、家族の仕事の大切さに気づいている。 〈発言分析・プリント⑤〉
				・家族への気持ちを、素直に書くよう促している。 〈発言分析〉	・単元を通して気づいたこと、考えたことを手紙に書くことができる。 〈手紙〉	・自分の決めた仕事を続けていくことの大切さが、わかっていく。 〈発言分析〉

本時の展開

本時の目標

- 【生活への関心・意欲・態度】
 - ・自分のしてきた仕事を、友だちに分かりやすく伝えようとする意欲をもつ。
 - ・友だちの発表に関心をもって、聞く。
- 【活動や体験についての思考・表現】
 - ・準備したことを生かして、分かりやすく発表できる。
 - ・友だちの発表をしっかりと聞き、質問したり意見を言ったりできる。
- 【身近な環境や自分自身についての気づき】
 - ・家の仕事にはいろいろなものがあることに気づき、働いている人への感謝の気持ちをもつ。
 - ・これからの自分の仕事に対して継続の意欲をもつ。

事前の準備

- ・発表会のやり方について事前に話をしておく。

過程	活動内容	教師の支援	評価規準	備考
つかむ(3分)	① 学習活動とめあてを知る。 「おてつだいでいさくせん」の発表会をしよう	・本時の活動内容とめあてを知らせる。 〔T 1〕 ・なごやかな雰囲気での発表ができるように環境づくりをする。 ・発表の手順・時間・場所等しっかり確認させる。 〔T 1〕 ・各児童の様子を、見守る。 〔T 2, T 3〕	・進んで発表会に参加しようとする意欲をもつ。	・めあてを書いた紙
	めあて ・わかりやすくはっきり発表しよう。 ・友だちの発表をしっかりと聞こう。 ・聞きたいことや感想があったら発表しよう。	・発表会の仕方を確認する。	・準備の段階から、発表会のやり方については話をしておく。	
発表する(37分)	② 同じ仕事をしたグループに分かれ、仕事の内容ややり方について発表する。 半分の子どもたちは、それぞれのグループを回って、発表を聞く。	・あらかじめ実践状況を把握しておき、どの子も発表できるよう、準備させておく。 ・実践した具体的な手順・工夫・失敗談・家の人の言葉等を交えながら発表できるようにする。 ・児童Mに対しては、すみれ学級担任がそばにつき、補足説明したり、活動の補助につく。 〔T 3〕 ・児童Sには、友だちが協力したり、教師も援助しながら活動させる。	・自分のやってきたことを、準備したことを生かして、わかりやすく発表している。 ・友だちの発表をしっかりと聞き、質問したりできる。 ・自分がやった仕事以外にも家の仕事にはいろいろなものがあることに気づく。	・子ども達の用意した発表のしたく

4. キャリア教育

過程	活動内容	教師の支援	評価規準	備考
発表する (37分)		<ul style="list-style-type: none"> 各グループを回り、助言する。 [T 1, T 2] 聞いている子は、自分のやった取り組みと比べながら聞くよう指導する。 		
まとめる (5分)	<ul style="list-style-type: none"> 全体で集まり、感想を発表しあう。 ④ 父母から子どもに宛てた手紙を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表した子、聞いて回った子にそれぞれ感想を発表させ、次時の活動に意欲をもたせる。 [T 2] お手伝いの取り組みに対する保護者の感想を事前に書いてもらい、それを何通か読み上げる。 [T 2] 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が発表したことや、友だちの発表を聞いたことに感想や意見をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の手紙

評価の観点

【生活への関心・意欲・態度】

- ① 自分のしてきた仕事を友だちに伝えようとしている。〈発表分析〉
- ② 友だちのしてきた仕事に関心をもって聞こうとしている。〈行動観察〉

【活動や体験についての思考・表現】

- ① 準備したものを使って、わかりやすく発表できる。〈発表分析〉
- ② 友だちの発表をしっかり聞き、質問したり感想を言ったりできる。〈発言分析〉

【身近な環境や自分自身についての気づき】

- ① 友だちの発表を聞き、家の仕事にはいろいろあることに気づいている。〈発言分析〉



資料1 生活科『みんな だいすき』

おてつだい だいさくせん

なまえ

☆さあ、いよいよ、じぶんのしごとをきめよう。☆

1. やることは…

みんなのくつをきれいにそろえる。
おとうとのめんどうをみる。
しよつきをならべる。

2. やりかたは…

みんながぬいだくつをきれいにそろえる。
おとうとをおぶろにいれる。
かみのけをかわがしてあげる。
ごはんのおかずをはこぶ。
しよつきをならべる。

3. 1にちの いろいろ やろうか…

あさとゆうがた
よる

.....

～おうちの方へ～

いよいよ、生活科の『みんなだいすき』の学習も、子どもたちが自分の仕事を決めて取り組んでいく活動に入ってきました。何度もお手数をおかけしますが、どんな仕事にするのか、ご家庭での活動でもありますので、一緒に考えていただきたいと思います。できましたら、

- 1. 毎日、続けられそうなこと。
- 2. その仕事は、家族の役に立つこと。

という点をお考えいただいて、決めてほしいと思います。また、この学習が終わっても家族の一員として、気持ちよく手伝い続けていけるように、学校でも励ましていきたいです。ご家庭でも、ぜひ、他に気をとられないような時間設定や励ましの声かけなどをよろしく願いいたします。

資料2 生活科『みんな だいすき』

おてつだい だいさくせん

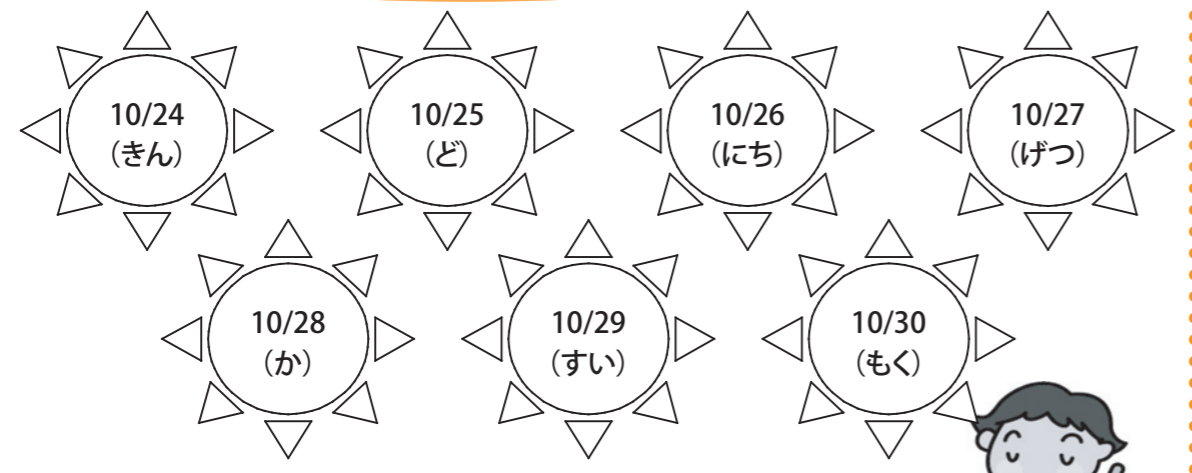
なまえ

☆じぶんのしごとは……

くつをそろえる



まずは、1しゅうかん がんばるぞ！



おてつだいがすすんで できたひは、おひさまに
いろをぬろう。マークやシールでもいいですよ。



～おうちの方へ～

お子さんの1週間の仕事ぶりはいかがでしたか。励ましやアドバイスなど、子どもたちへの一言をお願いします。今後の子どもたちの活動への励みになれば…と思います。何かとお手数をおかけしますが、よろしくをお願いします。

仕事から帰って玄関を開けると、家族みんなの靴がきれいに一列に並んでいて、気持ち良かったです。一生懸命にそろえたんだなと思うと、うれしくてかわいくて幸せな気分でした。お手伝いしてくれて助かります。ありがとう。これからもがんばって続けてくださいね。

お母さんより

資料3 生活科『みんな だいすき』

おてつだい だいさくせん

なまえ

☆これまで いろいろなおてつだいをしたり、ともだちのはっぴょうをきいたりしてきました。かぞくのことやじぶんのおてつだいのようす、はじめてわかったことなどについてかいてみましょう。

1. じぶんでおてつだいをしてみて、どうでしたか。

さいしょは、げんかんをはくことがむずがしかったけれど、
どんだんなれてきてじょうずになると、たのしくなってきたよ。
おかあさんが、「じょうずにできたね。」
といってくれて、ほくはうれしかったよ。

2. ともだちのはっぴょうをきいて、どうでしたか。

ふくをたたむときは、ちゃんとかどをそろえてやらないとだめなことが、よくわかったよ。
ふくをたたんでたのしかったよ。
ともだちが、いっぱいもんだいをだしてくれて、たのしかったです。
しつもんも、いっぱいできました。

※プリントに記入してある文章は、子どもや保護者を書いてもらったものを抜粋して載せたものです。